

製品名: コンタクチン 4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09242**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	CNTN4
別名	CNTN4; Contactin-4; Brain-derived immunoglobulin superfamily protein 2; BIG-2
遺伝子 ID	152330.0
SwissProt ID	Q8IWW2
免疫原	抗血清はヒト CNTN4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 661-710

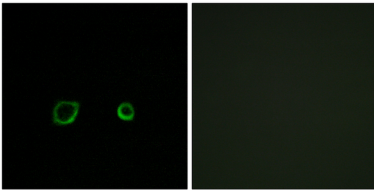
背景

この遺伝子は、免疫グロブリンのコンタクチンファミリーに属するタンパク質をコードしています。コンタクチンは軸索関連細胞接着分子であり、神経回路の形成と可塑性に関与しています。コードされているタンパク質は、グリコシルホスファチジルイノシトール

ルアンカー型神経膜タンパク質であり、発達中の神経系における軸索結合の形成に関与している可能性があります。この遺伝子の欠失または変異は、3p 欠失症候群および自閉症スペクトラム障害に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2011 年 5 月] 疾患: 3p 欠失症候群 (3PDS) の特徴的な身体的特徴を有する男児において、CNTN4 遺伝子を阻害する染色体異常が発見されました。転座 t(3;10)(p26;q26)。3PDS は、3 番染色体短腕のテロメア部分の喪失を伴うまれな連続遺伝子疾患で、発達遅延、成長遅延、および異形特徴を特徴とします。機能:コンタクチンは、神経系の発達中に細胞表面相互作用を媒介します。ある程度の神経突起伸展促進活性があります。シナプス形成に関与している可能性があります。誘導:レチノイン酸によって誘導されるため、分化因子に反応して作用する可能性があります。類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。コンタクチンファミリー。類似性:4 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含みます。類似性:6 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。組織特異性:主に脳で発現します。小脳で高度に発現し、脳梁、尾状核、扁桃核、脊髄で弱く発現します。精巣、膵臓、甲状腺、子宮、小腸、腎臓にも発現する。骨格筋には発現しない。アイソフォーム 2 は大脳皮質に弱く発現する。

研究分野

画像データ



CNTN4 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。